

学校教育推進計画

目標達成の視点

子供たちが、**人と人とのつながり**を大切と感じられるように…
子供も教師も、**学びの場を大切に**するために…

学校教育目標
**心身ともに健康で、
未来を心豊かにたくましく生きる
末広っ子の育成**

めざす児童像
ねばり強く、
たくましい子
よく考え、
くふうする子
仲良く、
礼儀正しい子

重点目標 「すてきな えがおを 広げよう」を合言葉に、人と人の**つながりを大切に**する児童の育成をめざします。
また、児童一人一人のために、**授業を大切に**し、教職員のチームワークと創意工夫のもと、歩み確かな教育活動を推進します。

確かな学力の育成

- 「わかる、できる、身につく」授業づくりの向上
⇒現職教育推進による授業力の向上
⇒振り返り、対話を生かした協働的な授業の推進
⇒ICT機器・学習用PC・デジタル教材の活用
⇒「学びのルール5カ条」の定着
⇒高学年での教科担任制
- 個に応じた支援と指導の充実
⇒ユニバーサルデザインの学級・授業づくり
⇒日本語指導、通級指導など多様な学びの場の充実
⇒特別支援協力員との連携による個別指導
- キャリアパスポートによる生き方指導の充実

豊かな心の育成

- いじめ、不登校対応の充実
⇒個を理解し、悩みに寄り添う指導の徹底
⇒教職員が児童情報を共有
- 心の教育の推進
⇒「すてきなえがおを広げる」あいさつ指導の充実
⇒道徳・人権・福祉教育の充実
- 豊かな感性の育成
⇒朝の読書タイム、読み聞かせ活動などによる読書活動の充実
⇒芸術鑑賞会等の実施

健やかな体の育成

- 運動に親しむ機会の充実
⇒体育の授業、運動会、なわとび活動
- 望ましい生活習慣の定着
⇒保健指導、食育指導、ICTリテラシー指導
- 安全教育の推進
⇒KYT、不審者・災害避難訓練など

信頼される学校づくり

- 教職員の資質・能力の向上
⇒校内現職教育の充実、各種研修会への参加
- 学校公開など開かれた学校づくりの推進
- 安心・安全な教育環境の整備
⇒不審者対応、救急搬送対応など緊急事態に備えた訓練の実施
- 教職員の働き方改革の推進

1 日課・カリキュラムを変更します

⇒月曜日木曜日課同様、掃除なし日とし、クラブ、委員会の活動日を除き、下校時間を**14:45**とします。
⇒2年生は水曜日**5時間授業**とし、1～3年下校とします。1、2年生を毎日同じ下校時間にすることで、同じ集団で下校することができ、安心、安全につながります。削減された授業数は朝の「学びタイム(15分×3日分)」で補います。
⇒近年の猛暑による熱中症リスクの増加と水難事故防止の観点から、安全確保を最優先とするため、学校の水泳学習は、泳ぎの習得に重点を置いた指導は行わず、水に慣れることと安全指導を目的として行っています。

2 教職員の勤務時間を見直します

⇒これまで、教職員の勤務時間は8:20～16:50としていましたが、児童の登校時間に合わせ、**8:10～16:40**とします。これにより、教職員が子供たちと向きあう時間を充実させることができます。

3 学校行事を見直します

⇒春の校外学習は、日を分けて、**午前日課**で行います。
⇒PTAと連携し、**音楽鑑賞会や観劇会等を開催**し、子どもたちの情操を養います。

4 ICTを活用し、教師と児童、保護者とのつながりを強化します

⇒連絡アプリ「totoru」の機能を拡張し、**家庭への個別連絡**を行います。これにより、お電話での連絡ができなかった場合でも、学校からの連絡をお伝えすることができます。
⇒心と学びの記録・振り返り支援システム「**スクールライフノート**」を活用し、児童の心の健康、必要な情報を教師だけでなく保護者の方もご覧いただけます。
⇒児童が家庭で**タブレットを使って宿題に取り組む**時間を増やしていきます。児童の意欲向上につながると同時に、教職員の課題チェックの時間を削減させます。

5 下校後や地域でのトラブル対応は、原則、ご家庭、地域での対応をお願いします

⇒学校管理下ではないところの対応を保護者の方に協力いただき、**学校で教職員が子供たちと向きあう時間を大切に**していきます。
※登下校時、下校後は基本的に学校管理下ではなく、安全確保やトラブル対応など、原則ご家庭で対応できることは保護者の方で対応をお願いします。しかし、ご心配なことがあればいつでもご相談ください

末広小の合言葉

すてきな えがおを 広げよう